

川越の 学校教育

教育指導課 ☎224-5483
FAX 226-4699



「夢や志をもち、自ら学び考え、他者と学びあい成長できるこどもの育成」

変化の激しい社会において、子どもたちが自分らしく豊かで幸せに生きるためには、変化を前向きに受け止め、自身に必要な知識や技能を習得し、それらを実践できる主体的・能動的な力を育むことが必要です。

本市では、子ども一人ひとりが志や意欲、自己肯定感を高め、多様な他者を理解・尊重した上で、自らの人生を切り開いていける力を育成する教育を進めています。

6つのポイント！

紹介します

Point!

01

学力向上の取り組み

子どもたちが自ら学び考え、行動する力を育むため「川越市小・中学生学力向上プラン」を推進しています。本プランでは、本市が目指す授業の基本形である「川越授業スタンダード」を軸に、授業改善の具体的な在り方を教育委員会と学校とが共有し、教職員の指導力向上と学校の教育力向上を図っています。

知識や技能の習得はもちろん、思考力・判断力・表現力等の資質・能力をバランス良く伸ばすため、一人ひとりの成長やつまづきを丁寧に把握し、きめ細かな指導・支援を行っています。

子どもたちが将来に向けて自立し、豊かな人生を送るための基礎となる力を培うべく、教育委員会と学校が協働して、より質の高い教育活動の実現を目指します。

1017835 ID

川越市小・中学生
学力向上プラン

Point!

02

英語教育の取り組み

英語指導助手をすべての市立学校に配置し、子どもたちが「生きた英語」に触れ、英語でコミュニケーションを図る力を育んでいます。また、少人数の子どもたちのグループが複数の英語指導助手とオンラインで会話する活動を通して、英語学習への意欲が高まっています。

英語の教科書を1年間に5回繰り返し、聞く・話す・読む・書くの4つの技能をバランスよく鍛える「5(ファイブ)ラウンドシステム」を複数の中学校で実施しています。実施校では、英語を話すことへの抵抗感がなくなっている子どもたちが多くなっています。



Point!

03

ICTの取り組み

すべての子どもたちに配布されているタブレット端末を授業で活用し、インターネットで分からないことを調べたり、グループでの意見のまとめや発表の際の道具として活用しています。

また、個々の学力に応じた問題を選択する「デジタルドリル」を活用し、子どもたちの自主的な学習を促しています。



Point!
04

川越市 ふるさと学習

ふるさと川越への愛着・誇り、地域へ貢献しようとする心を育むことを目的に、各校がそれぞれの特色を生かし、探究的に学ぶ取り組みを行っています。

各学校の特色を生かした取り組み事例

●小江戸川越と江戸比べ

東京への校外学習に向けた事前調査を通して、川越の主な史跡・文化財等を調査し比較する学習を行う。



●まちたんけん

通学路探検を通して、地域の様子を学んだり、愛着を深めたりする。また、地域の商店などを調べ、取材をする。



●川越の伝統行事や伝統文化の学習と体験

地域に昔から伝わる伝統文化を、地域の方から教わり、体験的に学ぶ。



●地域での農業体験・農作物づくり

地域の農家の協力のもと、じゃがいもや白菜の栽培・収穫を体験する。



Point!
05

特別支援教室の充実

個別の支援や配慮が必要な子どもたちが、より良い学びの場を選択できるよう、令和8年度にすべての市立小中学校に特別支援学級を設置しました。

本市では、川越市立の小・中学校等に勤務する教員等を対象に、特別支援学校教諭2種免許状の取得に必要な単位を修得するため、免許法認定講習を独自開催しています。全国中核市では2例目となります。教員等の専門性と資質向上を図るとともに、子どもたち一人ひとりに応じた支援を行っています。



Point!
06

教育相談の充実

1013261 ID

教育センター第一分室(リバーラ)では、面接相談や電話相談を通じて、子どもや保護者が抱える様々な悩み・不安に専門的教育相談支援員や臨床心理士が寄り添い、共に考えながら問題の解決を図ります。

リバーラは、「不登校支援の拠点」としての役割も担っています。リバーラ内には、学校に行きづらい子どもたちのための教育支援室(つばさ教室・小学生学習支援室)を開設しています。また、すべての市立小中学校には、登校はできるものの自分の教室に入りづらい子どもたちのための「校内学習室」を設置し、子どもたちの多様な学びの場と居場所づくりを行っています。